

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通学・通信）

事業者名：株式会社アイルート

※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。

研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画	
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数	実施内容
1 職務の理解 6時間	6時間	1 職務の理解 6時間	1 職務の理解
(1) 多様なサービスの理解		(1) 同左 3	(1) 講義のみ
(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左 3	(2) 講義及び演習 介護年報から介護職の働き方、サービス提供の現場についてグループディスカッションを行い、サービス提供の現場を学ぶ。
2 介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	2 介護における尊厳の保持・自立支援
(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 同左 4.5	(1) 講義・演習及び通信講習 認知症高齢者に対する介護の重要性についてグループディスカッションを行い、介護の重要性を学ぶ。
(2) 自立に向けた介護		(2) 同左 4.5	(2) 通信講習のみ
3 介護の基本 6時間	6時間	3 介護の基本 6時間	3 介護の基本
(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左 1	(1) 通信講習のみ
(2) 介護職の職業倫理		(2) 同左 3	(2) 講義及び演習 介護職の職業倫理についてグループディスカッションを行い、介護職の職業倫理をイメージさせる。
(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 同左 1	(3) 通信講習のみ
(4) 介護職の安全		(4) 同左 1	(4) 通信講習のみ
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
(1) 介護保険制度		(1) 同左 3.5	(1) 講義・演習及び通信講習 介護保険制度の概要についてグループディスカッションを行い、介護保険制度の必要性を理解する。
(2) 障害者総合支援制度及びその他制度		(2) 同左 2.5	(2) 通信講習のみ
(3) 医療との連携とリハビリテーション		(3) 同左 3	(3) 通信講習のみ
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5 介護におけるコミュニケーション技術
(1) 介護におけるコミュニケーション		(1) 同左 3	(1) 講義及び演習 介護におけるコミュニケーションの重要性についてグループディスカッションを行い、介護におけるコミュニケーションの重要性について理解を深める。
(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		(2) 同左 3	(2) 通信講習のみ
6 老化の理解 6時間	6時間	6 老化の理解 6時間	6 老化の理解
(1) 老化に伴うことからの変化と日常		(1) 同左 3	(1) 講義及び演習 老化に伴うことからの変化について、社会的、身体的、知的機能のグループディスカッションを行い、老化に伴うことからの変化について理解を深める。
(2) 高齢者と健康		(2) 同左 3	(2) 通信講習のみ
7 認知症の理解 6時間	6時間	7 認知症の理解 6時間	7 認知症の理解
(1) 認知症を取り巻く状況		(1) 同左 1	(1) 講義及び演習 認知症の現状についてグループディスカッションを行い、認知症の現状について理解を深める。
(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		(2) 同左 2	(2) 通信講習のみ
(3) 認知症に伴うことからの変化と日常生活		(3) 同左 2	(3) 講義のみ
(4) 家族への支援		(4) 同左 1	(4) 通信講習のみ
8 障害の理解 3時間	3時間	8 障害の理解 3時間	8 障害の理解
(1) 障害の基礎的理解		(1) 同左 0.5	(1) 通信講習のみ
(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識		(2) 同左 0.5	(2) 通信講習のみ
(3) 家族の心理、かかり支援の理解		(3) 同左 2	(3) 講義及び演習 障害の現状についてグループディスカッションを行い、障害の現状について理解を深める。
9 ことからのしきみと生活支援技術 75時間	75時間	9 ことからのしきみと生活支援技術 75時間	9 ことからのしきみと生活支援技術
ア 基本知識の学習 10～13時間	10～13時間	ア 基本知識の学習 10時間	ア 基本知識の学習
(1) 介護の基本的考え方		(1) 同左 3	(1) 講義のみ
(2) 介護に関することからのしきみの基礎的理解		(2) 同左 3	(2) 通信講習のみ
(3) 介護に関することからのしきみの基礎的理解		(3) 同左 4	(3) 講義及び通信講習
イ 生活支援技術の講義・演習 50～55時間	50～55時間	イ 生活支援技術の講義・演習 53時間	イ 生活支援技術の講義・演習
(4) 生活と家事		(4) 同左 4	(4) 通信講習のみ
(5) 快適な居住環境整備と介護		(5) 同左 4	(5) 通信講習のみ
(6) 整容に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(6) 同左 6	(6) 講義及び実技演習 整容の重要性についてグループディスカッションを行い、整容の重要性について理解を深める。
(7) 移動・移乗に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(7) 同左 12	(7) 講義及び実技演習 移動・移乗の重要性についてグループディスカッションを行い、移動・移乗の重要性について理解を深める。
(8) 食事に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(8) 同左 6	(8) 講義及び実技演習 食事の重要性についてグループディスカッションを行い、食事の重要性について理解を深める。
(9) 入浴・清潔保持に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(9) 同左 6	(9) 講義及び実技演習 入浴の重要性についてグループディスカッションを行い、入浴の重要性について理解を深める。
(10) 排泄に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(10) 同左 6	(10) 講義及び実技演習 排泄の重要性についてグループディスカッションを行い、排泄の重要性について理解を深める。
(11) 睡眠に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(11) 同左 6	(11) 講義及び実技演習 睡眠の重要性についてグループディスカッションを行い、睡眠の重要性について理解を深める。
(12) 死にゆく人に関連したことからのしきみと終末期介護		(12) 同左 3	(12) 講義のみ
(実習) <sup>※</sup> (50～55時間中12時間以内)		(実習) <sup>※</sup> 0時間	(実習) <sup>※</sup>
介護実習 〇時間			
ホームヘルプサービス同行訪問 〇時間			
在宅サービス提供現場見学 〇時間			
ウ 生活支援技術演習 10～12時間	10～12時間	ウ 生活支援技術演習 12時間	ウ 生活支援技術演習
(13) 介護過程の基礎的理解		(13) 同左 6	(13) 講義及び実技演習 事例をもとに、個別援助計画の作成演習を行う。
(14) 総合生活支援技術演習		(14) 同左 6	(14) 講義及び実技演習 総合生活支援技術の重要性についてグループディスカッションを行い、総合生活支援技術の重要性について理解を深める。
10 振り返り 4時間	4時間	10 振り返り 4時間	10 振り返り
(1) 振り返り		(1) 同左 2	(1) 講義及び演習 振り返りの重要性についてグループディスカッションを行い、振り返りの重要性について理解を深める。
(2) 就業への備えと研修終了後における継続的な研修		(2) 同左 2	(2) 講義のみ
追加カリキュラム			
計 (130時間)		計 (130時間)	

※「9 ことからのしきみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。